

令和5年7月の労働市場の動き

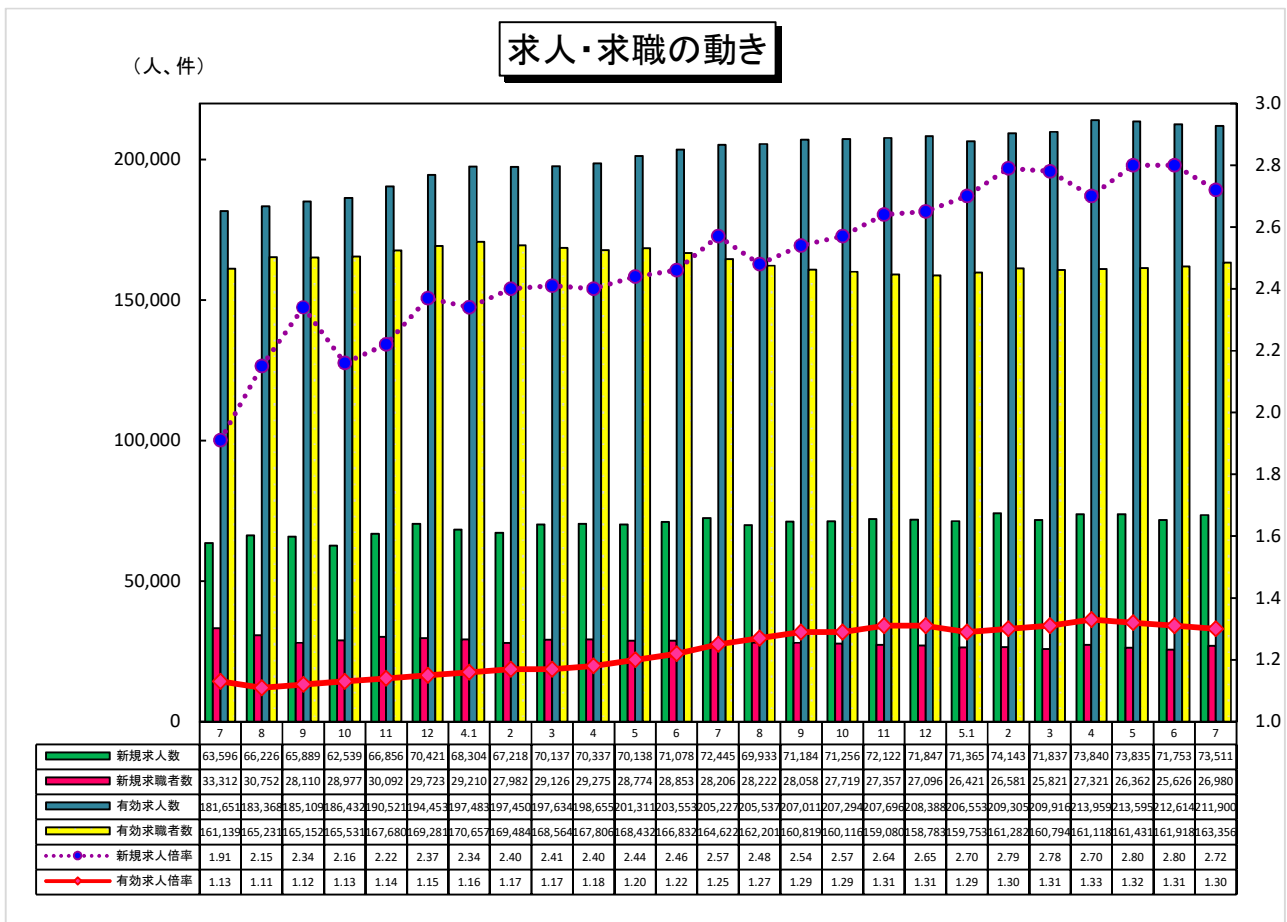
（求人倍率）

- 大阪府の令和5年7月の有効求人倍率(季節調整値)は**1.30倍**と、前月より**0.01ポイント**低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.72倍となり、前月より**0.08ポイント**低下となった。

※就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、**1.10倍**と、前月より**0.02ポイント**低下となった。

（求人・求職の動き）

- 7月の新規求人数(季節調整値)は前月比2.5%増加となり、有効求人数(同)は同0.3%減となった。
- 7月の新規求職申込件数(季節調整値)は前月比5.3%増となり、有効求職者数(同)は同0.9%増となった。
- 7月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると2.0%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比10.8%減)、製造業(同1.0%増)、情報通信業(同7.8%増)、運輸業、郵便業(同9.4%増)、卸売業、小売業(同12.8%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同0.4%減)、宿泊業、飲食サービス業(同5.1%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同40.0%増)、教育、学習支援業(同4.3%増)、医療、福祉(同3.2%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同5.4%増)となった。



(注)各月の数値は季節調整値。R5.2季節調整替。